

秋月～呉中央航路の現状について

【現 状】

- 年間利用者数 99,936 人（平成 21 年度実績）
- 年間約 2,600 万円（1 カ月あたり 215 万円）の赤字が発生
- 経営状況の悪化から 6 月末日で廃止の申出
- 利用者から存続を求める嘆願書の提出

【対 応】

- ① 減便、運賃の値上げ、人件費の削減により試算
- ② 試算ダイヤによる社会実験運航の実施（4 カ月間）
- ③ 社会実験運航の実績により今後の方針を決定

① 試算の結果

- 利用者の少ない日中の便を中心に減便（平日、土曜日 8 便運航）
- 日祝日の運航を休止
- 運賃を 80 円値上げ（大人 420 円 ⇒ 500 円）
- 人件費の削減（▲ 25%）

	実 績 H21. 4～22. 3	試 算 H22. 7～H23. 6	試算との比較
便 数	平日 12 便 土曜日 9 便 日祝日 8 便	平日 8 便 土曜日 8 便 日祝日 一便	平日▲4 便 土曜日▲1 便 日祝日▲8 便
運 賃	大人 420 円 小人 210 円	大人 500 円 小人 250 円	大人+80 円 小人+40 円
利用者数	99,936 人	69,565 人	▲30,371 人
(1 日あたり)	平日 355 人 土曜日 145 人 日祝日 90 人	平日 265 人 土曜日 91 人 日祝日 一人	平日▲90 人 土曜日▲54 人 日祝日▲90 人
収 入	32,771 千円	23,915 千円	▲8,856 千円
費 用	58,597 千円	40,810 千円	▲17,787 千円
損 益	▲25,826 千円	▲16,895 千円	8,931 千円
(1 カ月あたり)	(▲2,152 千円)	(▲1,408 千円)	(744 千円)

② 社会実験運航及び交通手段確保の検討


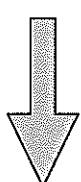
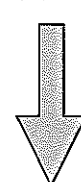

（別紙：スケジュール案）

- 実施期間（4 カ月間）
- 実験運航期間中の検討事項
 - ・利用者アンケートの実施
 - ・試算結果の検証、航路存続の可能性を模索

③ 必要な予算額

- 社会実験運航費、代替交通確保補助金 12,600 千円（1,400 千円×9 カ月分）

社会実験運航及び交通手段確保の検討 スケジュール案

月	対応策など			
(H22) 6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 6月議会 ・ 社会実験運航費補助金（7月～10月分） ・ 社会実験運航終了後、年度末までの代替交通確保のため運航（行）費補助金（11月～3月分） 			
7月	実験 運航	試算ダイヤによる社会実験運航の実施 <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者アンケート ● 運航データの収集 		
8月				
9月	① 航路を存続させるための検討 （社会実験運航実績による） <ul style="list-style-type: none"> ● 試算結果の検証 ● 航路継続の可能性を模索 ・ 大昭汽船㈱での運航の可否 ・ 他社での運航や航路再編の可能性 	② 陸上代替交通の検討 <ul style="list-style-type: none"> ● デマンド交通等導入の検討 ● 陸上代替交通導入までの交通手段の検討 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会実験運航終了後（11月以降）の方針決定 ・ 航路存続又は陸上代替交通の導入 ・ 運航（行）形態 ● 運航（行）手続き、準備など 			
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会実験運航の終了（10/30） 			
		航路の存続	航路の存続が不可能な場合	
		海上交通で対応	陸上交通で対応	
		ケース①	ケース②	ケース③
11月		<ul style="list-style-type: none"> ● 11月以降も航路での運航を継続 【海上交通で対応】 ・ 大昭汽船又は他社による運航 	<ul style="list-style-type: none"> ● 陸上代替交通の導入までの対応（3月末日まで） 【海上交通で対応】 ・ 他社による運航 	<ul style="list-style-type: none"> ● 陸上代替交通の導入までの対応（3月末日まで） 【陸上交通で対応】 ・ 貸切（バス・タクシー等） 
12月				
(H23) 1月				
2月				
3月				
4月～	陸上交通での運行開始（4月1日～） <ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド交通等 			

印字機		分類番号		保存年限	
				13510永	
市	町	部	課	課	主幹
江田島市	大柿町	生活部	生活課	生活課	
送付先		担当者		閲覧	
江田島市長					

田中 達美 様



平成 22 年 4 月 30

秋月～呉航路存続を求める嘆願書

平素から市政発展のために、ご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、大昭汽船が運航している秋月～呉航路は平成 22 年 6 月末にて廃止される予定と仄聞していますが、江田島・大柿方面からの通勤、通学及び通院などでの利用者も多く、江田島市の住民の利便性の向上には欠かせない社会資本の一つとして定着しているところであります。とりわけ秋月地区等の住民は、対岸の呉に行く重要な交通手段であると考えています。

従って、この航路が、存続できるよう格段のご高配をお願いいたします。

利用者代表

江田島町自治会連合会会長

中村博政

秋月自治会長

二井 豪



鷺部自治会長

古田 博 章



山田自治会長

矢ノ浦自治会長

尾崎 好 博



中郷自治会長

尾上 省 治



江南自治会長

浜中 繁 美

